

55年目のリ・クリエイト（再創造）（愛媛県鬼北町）

取組概要

庁舎改修という50年に一度の大事業（ハード）に併せて、建物や執務環境だけでなく、職員の働き方（ソフト）も見直そうと様々な職員の意識改革に取り組んだ「55年目のリ・クリエイト（再創造）」活動を報告します。

人口 10,898 人  
担当 総務財政課

取組の効果

最小のコストで最大の効果を得るファシリティマネジメントに沿った庁舎改修であり、老朽化した今後の庁舎のあり方を示唆する内容である。  
また、再生庁舎となった建物と同じく、職員の意識改革も再生され始めている。



2012年に登録有形文化財となり、2016年に改修工事を終え再生された鬼北町庁舎

創意・工夫した点

文化財という価値を付加し、古いものを価値あるものへ

縦割り組織の壁を越えたヨコ串のプロジェクト化

他団体へのアドバイス

様々な価値を自明ではなく発見する「きっかけ」を見逃さない

一人で出来ないことは仲間と共に…



本庁内1階執務室